

令和2年

8月

No.43

Summer



所沢の“今”が2分でわかる！

ところざわ通信



Tokorozawa News

01 オープンが待ち遠しい！「ところざわサクラタウン」市長視察

7月14日(火) ところざわサクラタウン建設現場（東所沢和田）



日本最大級のポップカルチャーの発信拠点として、令和2年11月6日(金)にグランドオープン予定の「ところざわサクラタウン」。角川武蔵野ミュージアムをはじめとする各施設を、藤本市長など関係者が視察しました。「COOL JAPAN FOREST 構想」の拠点施設となるそのスケール感とコンセプトに、ただただ圧倒されるばかり。新たなにぎわいが生まれようとしています。プレオープンの期間は8月1日スタートです。

02 ところざわあんどんろうか 野老澤行灯廊火 2020

7月10日(金)～31日(金) 中心市街地



今年の野老澤行灯廊火は残念ながら中止となりましたが、「野老澤行灯廊火 2020」として、中心市街地のお店の店頭などに約135個の地口行灯じぐちあんどんを展示。お店の特色を生かし趣向を凝らした楽しいディスプレイも。期間中、疫病退散を願う「アマビエ様」のイラストの行灯が道行く人たちを見守りました。願いが届いて、来年は賑やかな野老澤行灯廊火が戻ってきますように。

撮影：市民カメラマン・遠井洋子

03 集まれところっこ！親子で楽しむ運動あそび

7月11日(土) こどもと福祉の未来館（泉町）



親子での触れ合いの場、正しい生活リズムを身に付ける機会となるよう、早稲田大学前橋明研究室と共同で開催している「ところっこ親子で楽しむ運動あそび」（対象は2～6歳児）。当日は、検温やマスク、換気などの感染症対策を講じ、20組ほどの親子が参加しました。多種多様な運動に、目いっぱい、気持ち良さそうに体を動かす子どもたちはもちろん、汗ばむ大人も笑顔に溢れていました。

撮影：市民カメラマン・津田資雄

04 ミューズ リニューアル！新ホールオルガニストお披露目

7月2日(木) 市民文化センターミューズ アークホール



ミューズリニューアル後、感染症対策を講じ、最初のコンサート「Re:START」が行われました。4月からの第4代ホールオルガニスト、三原麻里さん・原田真侑さんと、オーバーホールされたパイプオルガンの初披露の場。本公演を皮切りに芸術文化で所沢を元気づけていきたい、そんな想いが込められています。来場した観客は、久しぶりに生で聴く荘厳な音色に心を奪われているようでした。
撮影：市民カメラマン・三平資郎

05 YS-11 型旅客機、ミューズがブルーライトアップ

7月1日(水) 航空公園駅前、市民文化センターミューズ



航空公園駅前のYS-11型旅客機が幻想的な青色に染まりました。新型コロナウイルス感染症の拡大により、現場の最前線で尽力されている医療従事者の方々への感謝と敬意を表し、見た人が明るい未来へ向かって翔びたてることを願って、行われたものです。同日、ミューズ前広場も感謝の青い光に包まれ、見る人を魅了しました。駅前のライトアップは7月末で終了。ミューズでは9月末まで実施されます。
撮影：市民カメラマン・由井一雄

06 地下水 100%！「ところざわの水」を紙パックで販売します

6月25日(木)から市内の取扱店舗で販売中



所沢市上下水道局では市制施行70周年を記念して、東部浄水場（並木7-2）の地下300mから汲み上げた、地下水100%の「ところざわの水」18,000本を製造しました。プラスチックごみ削減に向けた取り組みの一環として、公営企業としては全国で初めて紙パックを使用した商品で、1本1000mlです。市内の取扱店舗で販売していますので、是非ご賞味ください。

最新情報はこちら

市ホームページ内「ところざわ通信」をご覧ください。



所沢市広報課フェイスブックもチェック！



令和2年（2020年）8月発行号 【No.43】

発行 所沢市

〒359-8501 所沢市並木 1-1-1

編集 広報課 ☎ 04-2998-9024

FAX 04-2994-0706

市 HP <https://www.city.tokorozawa.saitama.jp/>

広報マスコット
ひばりちゃん

